

総合共済へ

うれしい給付がいっぱい
結婚 1万円 出産 5千円
結婚記念日 2万円 など

泉北教育

NO.2245 2023.3.6

発行 泉北教職員組合

〒594-0071 和泉市府中町6-12-2

TEL0725-41-1953 Fax0725-44-6570

E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

「敵基地攻撃能力」だけじゃない 「安保3文書がねらう 教育を使った国民統制

先制攻撃が可能になれば
全面戦争の危険増大

昨年末に閣議決定が强行された安保3文書は、歴代の政権が「憲法違反である」としてきた「敵基地攻撃能力」の行使に踏み込みました。これまで日本政府は日本が攻撃された場合にのみ、武力を行使する専守防衛を基本原則としてきました。しかし、今回の国家安全保障戦略では、まだ、日本が攻撃されていなくても、相手が攻撃に「着手」すれば、こちらから攻撃しても良いということになっていきます。実際に攻撃される前に「こちらから攻撃する」、これはもはや先制攻撃でしかありません。攻撃をされた相手国が反撃をすれば、全面戦争が始まってしまいます。

安保3文書に

「愛国心の育成」を明記

また、3文書の「国家安

全保障戦略」には、「強化すべき社会的基盤」が書かれています。そこには、安全保障に関する国民の「理解と協力を深めるための取組」として「我が国と郷土を愛する心を養う」と記されています。これは、2006年に国民多数の反対を押し切って改悪された教育基本法に書かれている文言ですが、軍事関連の文書に、愛国心の育成が盛り込まれるのは、戦前の国家による統制と同じ動きといえます。

さらに「政府と企業・学術界との実践的な連携の強化」が記され、軍産学共同を強力に推進しようとしています。

「新しい戦前」には

させない

昨年12月にタレントのタモリさんが2023年を「『新しい戦前』になるんじゃないでしょうか」と言っ

たことが、話題となっています。「新しい戦前」にするわけにはいきません。戦争で真っ先に犠牲になるのは、子どもや障害者など、弱い立場の人たちです。

今こそ憲法生かし

平和を守ろう

憲法9条は戦争への「防波堤」です。軍備を増強して国際緊張を深めるのではなく、憲法をいかして平和を守る運動を大きく広げていくことが求められています。

16 平和と公平をすべての人に



3年ぶりの対面開催 青年フェスタ

2月12日に第34回青年フェスタが行われました。コロナの感染対策のため、2年間リモートでの開催でしたが、今年は3年ぶりに対面で開催することができました。午前中は、レポート講座。青年の先生の実践レポートが報告されました。午後からは、すぐに使える知識や技術を得られる実技講座と、記念講演が行われました。

【参加者の感想】

レポート講座は、小・中高・支援それぞれの職種・職場で悩んでいること、教えてほしいことを直接交流して学び得られるので、活力も増すし職場を越えたつながりもできました。No.3とはちがい、疑問に思ったことや、ちょっとしたことも聞きやすく、顔を合わせて交流できることの良さを改めて感じる事ができました。

今回の記念講演では、「男らしく？女らしく？いえ、あなたらしく。」

イロトリドリな性の世界というテーマで、LGBTに限らずもっと多様な性のあり方があることや、性のとらえ方のちがいを話されました。引き込まれるような話し口に、聴いていた人全員が魅了されました。「マイノリティって何をもつてマイノリティとするのか」ということについて、とても考えさせられました。

さいごに、来年度は少し形を変えた青年フェスタとなりますが、是非とも参加してほしいと思います。様々な考え方や、他者との交流、つながりを得られることは、今後の自分にとって価値あるものです。このような場に参加して見聞を一緒に広めませんか。

(高石市・中学校教員)



軍事力による領土変更は絶対に許されない。ロシアは直ちにウクライナから撤兵せよ！